

熊

Kumamoto City

구마모토시

本



2008年市勢要覽



熊本市章
ひらがなの「く」の字を圖案化したもので、市民の調和を基とし、たくましく発展する熊本市の姿を太い円で示したものです。

市木・市花・市鳥

市木・市花 昭和49年10月9日制定
市鳥 昭和59年5月22日制定



KUMAMOTO CITY TREE

市木 イチョウ(イチョウ科)

熊本市民には熊本城が銀杏城といわれているようになじみ深く、強健で樹齢が長く、市街地の街路に多く植栽され、独特な尖円錐形の樹形をつくり春の緑陰、秋の黄葉とその美しさでよく知られている。



KUMAMOTO CITY FLOWER

市花 肥後椿(ツバキ科)

江戸時代から細川藩の庇護を受け、藩士をはじめ寺社地の豪族等の愛好者によって広められ改良を重ねて、清雅枯淡の味わいある銘花となったといわれている。肥後椿の特色は薄色の花弁が主流でよく整った一重咲きで、中心に金糸銀糸のような色鮮やかな太い雄しべが梅芯のように盛りあがるところにある。



KUMAMOTO CITY BIRD

市鳥 シジュウカラ

全長約14.5cmで、美しい澄んだ声でさえずり、多量の害虫を食べ、緑を守る益鳥として市民に親しまれている。金峰山や立田山、託麻三山など森に多く生息し白い胸に黒ネクタイ状の帯が目立つ可愛い姿で、四季を通じて観察される。

(写真は、東海大学出版会提供 フィールド図鑑より)

Kumamoto City

- 一、**常磐の緑** いらかを包み
森の都と世に謳われて
文運さかゆる平和の都
われらの都 大熊本市
- 二、**商工立市の営み**しげく
いま新興の光に満ちて
生気ぞあふるる文化の都
われらの都 大熊本市
- 三、**輝く進取の旗**ひるがえし
西日本の最中に立ちて
いざいざ築かむ理想の都
われらの都 大熊本市

- 一、**霊峰阿蘇**を遙かに望み
水白川の流に沿いて
天下に名だたる古城の都
われらの都 大熊本市
- 二、**常磐の緑** いらかを包み
森の都と世に謳われて
文運さかゆる平和の都
われらの都 大熊本市
- 三、**商工立市の営み**しげく
いま新興の光に満ちて
生気ぞあふるる文化の都
われらの都 大熊本市
- 四、**輝く進取の旗**ひるがえし
西日本の最中に立ちて
いざいざ築かむ理想の都
われらの都 大熊本市

熊本市歌

東岡 正治作詞
鳥飼 哲夫作曲

● CONTENTS ●

熊本市(市木・市花・市鳥・市歌)目次…………… 1
 発刊にあたって…………… 2
 地域と気象…………… 4
 人口…………… 5
 熊本市総合計画・まちづくり戦略計画実施計画…………… 6
 まちづくり戦略計画：まちづくりの進め方…………… 8
 まちづくり戦略計画：3つのターゲット
 ターゲット1 良好な環境を未来へと引き継ぐまち…………… 9
 ターゲット2 子どもたちが健やかに成長するまち…………… 10
 ターゲット3 人々が集う元気なまち…………… 11
 分野別計画
 第1章 一人ひとりが輝く人権尊重社会の構築…………… 12
 第2章 心がかよひ合う市民生活の創出…………… 14
 第3章 健やかでいきいきと暮らせる保健・福祉の充実…………… 16
 第4章 水と緑に囲まれた良好な環境の形成…………… 18
 第5章 魅力と活力あふれる産業・経済の振興…………… 20
 第6章 安全で快適な都市基盤の整備…………… 22
 第7章 豊かな人間性を育む教育・文化・スポーツの振興…………… 24
 政令指定都市を目指して…………… 26
 行政…………… 27
 特集…………… 28
 市議会…………… 32
 広報広聴…………… 34
 名誉市民…………… 36
 熊本市案内図…………… 37
 熊本市のあゆみ…………… 38
 資料編…………… 別冊



発刊にあたって

熊本市は、清冽な地下水や豊かな緑などの自然環境に恵まれるとともに、熊本城をはじめとした優れた歴史遺産や豊かな伝統文化を受け継ぎ、人口67万人を擁する九州中央の拠点都市として発展を続けており、現在、この多くの優れた地域資源を活かして「日本一住みやすく暮らしやすいまち」の実現を目指しているところでございます。

このような中、ここ数年が本市の将来を決定付ける最も重要な時期を迎えております。

まず、合併・政令指定都市に向け、富合町との合併準備を着実に進めるとともに、熊本市圏ビジョンとともに描く市町村の皆様と、さらなる合併へ向けた協議を行います。そして、2年余りとなった合併特例法の期限内の合併、さらには政令指定都市を実現し、九州中央の東アジアをも視野に入れた一大交流拠点を目指します。

次に、平成23年春に予定される、九州新幹線鹿児島ルートの特設ホームの全線開業への対応です。熊本駅前東A地区市街地再開発事業や熊本駅中心の交通網の整備を着実に進めるとともに、中心商業地、新町・古町地区から熊本駅までを、「熊本の顔」として回遊性を高め、官民協働で中心市街地活性化基本計画に掲げる事業を展開して参ります。特に、民間主導による花畑・桜町地区の2つの再開発事業の促進や、新町・古町地区における城下町の風情が感じられる街並み再現等の事業を着実に実施し、地域の皆様と一緒に新たな賑わい空間を創り上げていきます。

さらに、本年は熊本城築城400年祭のフィナーレ、「エピソード未来へ」の開催期間中に本丸御殿大広間が完成し、多くの方々に魅惑の熊本城をお楽しみいただいております。この400年祭を契機とし、熊本城を核とした「城下町熊本」の魅力国内外に発信し、市民の皆様はもちろん、全国各地さらには海外からも多くの皆様にお越しをいただきたいと思います。

最後になりますが、この「2008年市勢要覧」が皆様方のこのような本市の取り組みをご理解いただく一助となれば、大変幸いに存じます。

2008年4月
熊本市長 幸山政史

Kumamoto City

Message from the Mayor

In addition to being naturally endowed with an abundant supply of ground water as well as a wealth of foliage, Kumamoto City, with a population of about 670,000, is also home to numerous cultural heritage sites, including the cherished Kumamoto Castle. Having inherited traditional Japanese culture, the city continues to develop as the hub of Central Kyushu. Fully utilizing those local assets, we are currently striving to make Kumamoto City 'The Best City to live in all of Japan.'

With this in mind, we are considering that the next few years will be the most crucial period for the future development of our city.

First and foremost, the city will continue to work on a municipal merger with Tomi-machi and hand-in-hand discuss with surrounding municipalities who envision a Greater Kumamoto City Area Administration in order to be granted with the status of an "Ordinance-designated City." One of our goals is to achieve these mergers with possible neighbor municipalities and become an "Ordinance-designated City" in two years time before the deadline stipulated by the Special Mergers Law. We aim to make Kumamoto the hub of Central Kyushu and even East Asia.

Another goal that the city has been working on is to accommodate the opening of the Kyushu Shinkansen Bullet Train Kagoshima Route, which is scheduled to begin its operation in 2011. Major projects include the development of the Kumamoto Station East Area and improvement of the transit system between downtown and the station by creating more attractions in such areas as downtown, Shinmachi, Furumachi and Kumamoto Station. In order to achieve this goal, we will collaborate with citizens and work on every project stipulated in the City Center Development Plan. Above all, we will accelerate two private-initiated redevelopment projects in Hanabata and Sakuramachi areas, as well as develop more attractions in the Shinmachi and Furumachi areas, which would create an old castle town ambience. It is my hope that we can collaborate with local citizens on this new development and revitalize many aspects of our city.

Moreover, the reconstruction of the Honmaru Goten Great Reception Hall will be completed during the Castle's 400th anniversary festival finale 'Epilogue-to the Future.' I hope that many people will enjoy the newly added magnificence of the Kumamoto Castle after the dedication. This will also give us an opportunity to share an intriguing "Castle Town Kumamoto" with the rest of Japan as well as the world, and it is our hope that many people, not only from Japan but also from around the globe, will visit our city.

Last but not least, I hope that this 2008 Edition of the Kumamoto City Handbook will help you better understand our goals and general approach as the city government.

April 2008
Seishi Kohyama, Mayor, Kumamoto City

시장 인사말

구마모토시는 깨끗하고 시원한 지하수와 천혜의 자연환경을 갖추고 있습니다. 그리고 구마모토성을 비롯한 훌륭한 역사유산과 전통문화를 계승하여 발전을 거듭하고 있는 인구 67만의 규슈 중앙에 위치하는 도시입니다. 이렇게 우수하고 풍부한 지역자원을 활용하여 「일본에서 가장 살기 좋은 도시」 실현을 지향하고 있습니다.

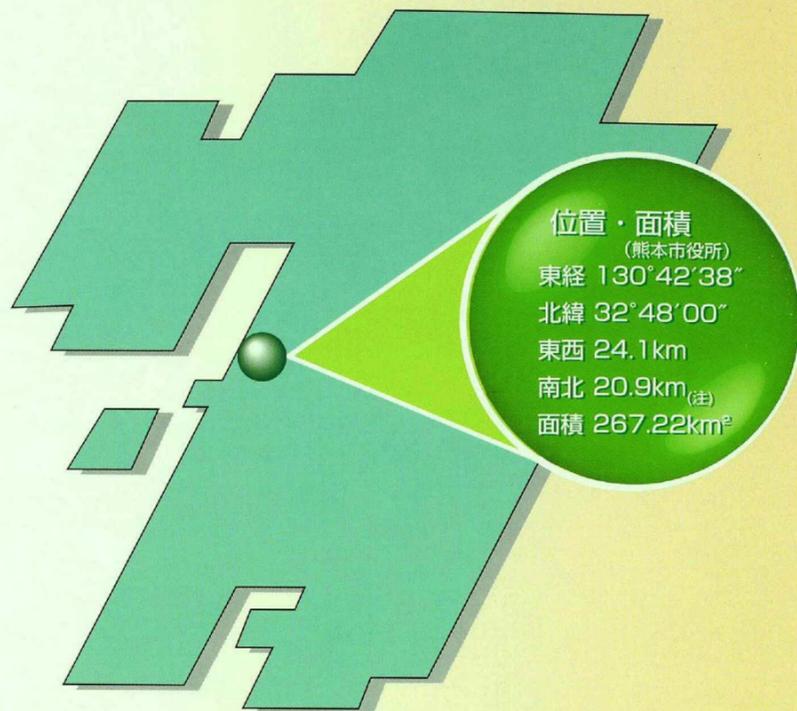
이러한 가운데 현재, 우리 시의 미래를 결정하는 매우 중요한 시기를 맞이하여 도미야마마찌와 합병을 추진하고 있습니다. 이와 함께 시초촌의 여러분과 합병을 위한 회의를 거듭하여 구마모토 도시권의 미래상을 그려나가고 있습니다. 앞으로 2년밖에 남지 않은 합병특별법 기간 내에 합병을 추진하고 나아가서는 경영지정도시를 실현하여 동아시아 교류의 거점이 되는 규슈의 중앙도시를 지향하고 있습니다. 또한 2011년 봄, 규슈신칸센 가고시마선 전 노선의 개통을 앞두고 구마모토역 앞의 동 A 지구 시가지 재개발사업과 구마모토역 중심교통망 정비를 순조롭게 진행하고 있습니다. 그리고 중심상업지와 신마찌·후루마찌지구에서 구마모토역까지를 「구마모토의 얼굴」로 지정, 민관이 협동하여 중심시가지 활성화 기본계획사업을 추진해 나갈 예정입니다. 특히 민간의 주도하에 하나바타·사쿠라마찌 2개 지역의 재개발사업을 촉진하고, 신마찌·후루마찌 등 성시의 풍취가 느껴지는 거리를 재현하여 지역주민 여러분과 함께 새로운 활성화 공간을 만들어 나가겠습니다.

그리고 올해는 구마모토성 축성 400주년 축제의 피날레인 「에필로그 미래로」의 기간중에 혼마루고텐 오히로마가 완성되어 일반에 공개됩니다. 시민 여러분께서는 새롭게 되살아나는 구마모토성의 매력을 느낄 수 있을 것입니다. 축성 400주년 축제를 계기로 구마모토성을 중심으로 한 「성시 구마모토」의 매력을 국내외로 전달하여 구마모토 시민 여러분은 물론이며 국내외에서 많은 분이 구마모토를 방문해 주시기를 바랍니다. 끝으로, 「2008년 시세요람」을 통해서 구마모토시의 전반적인 현황을 이해하시는데 조금이나마 도움이 되었으면 하는 바램입니다.

2008년 4월
구마모토 시장 고타야 세이시

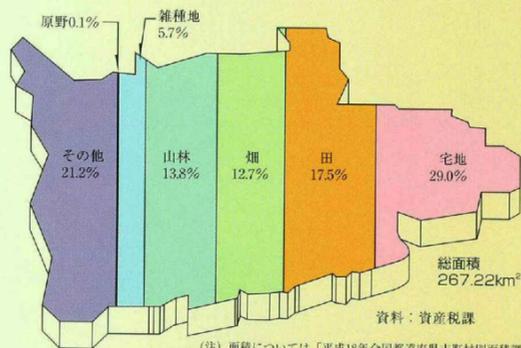
地域と気象

LOCATION AND CLIMATE
지역과 기상



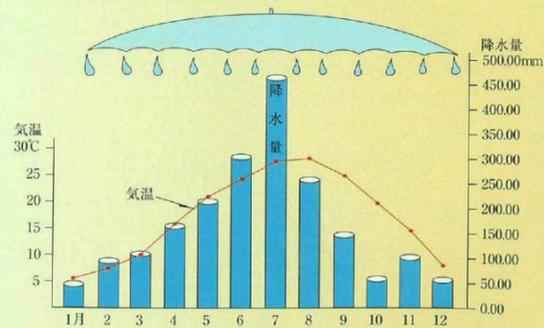
(注) 面積については「平成17年全国都道府県市町村別面積調」国土交通省国土地理院発行による。(H17.10.1現在)

■地目別土地面積 (平成19年1月1日現在)



(注) 面積については「平成18年全国都道府県市町村別面積調」国土交通省国土地理院発行による。

■気温と降水量の月別変化 (平成15年～平成18年平均)



本市は九州の中央、熊本県の西北部、東経130度42分・北緯32度48分の位置にあります。

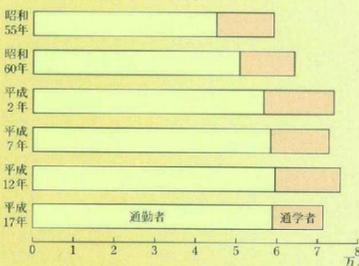
地勢は、金峰山を主峰とする複式火山帯と、これに連なる立田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪火山群によってできた丘陵地帯であり、南部は白川の三角洲で形成された低平野からなっています。

気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気象条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

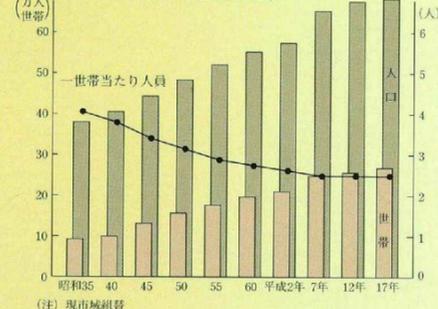
■熊本市及び周辺市町村の人口分布図 (平成17年10月1日 国勢調査人口)



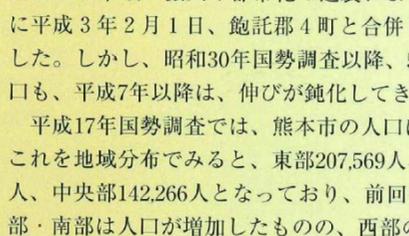
■流入人口の推移 (国勢調査) (注) 現市域組替



■人口・世帯数の推移 (平成17年国勢調査) (注) 現市域組替



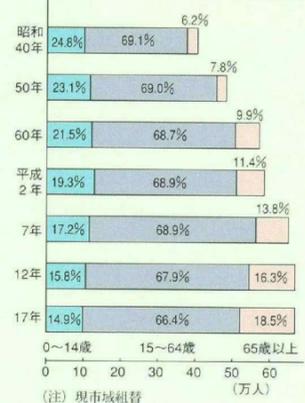
■人口・世帯数の推移 (平成17年国勢調査) (注) 現市域組替



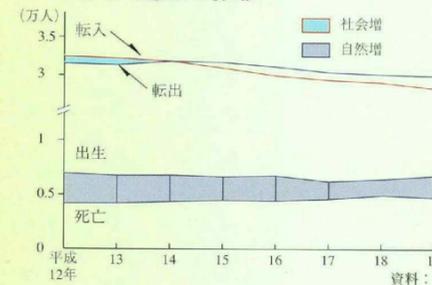
熊本市及び周辺市町村人口

熊本市及び周辺15市町村の人口は、平成17年10月1日現在1,044,011人(平成17年国勢調査)で熊本県総人口の56.7%を占めており、前回平成12年国勢調査に比べ、人口増加率は、1.3%となっています。

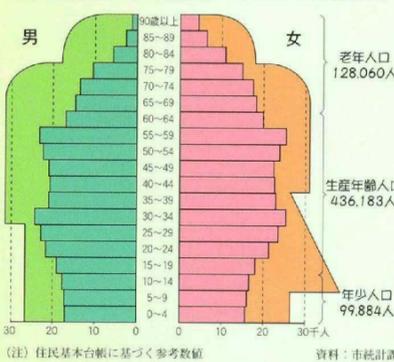
■人口の年齢構成推移 (国勢調査)



■人口動態の推移



■年齢別人口構成 (平成17年国勢調査)



POPULATION
인구

熊本市総合計画・まちづくり戦略計画実施計画

構成

1 まちづくり戦略計画：まちづくりの進め方

まちづくり戦略計画に示した、これからの新しい熊本づくりを推進していくための体制を説明します。

2 まちづくり戦略計画：3つのターゲット

まちづくり戦略計画に示した、特に重点的に取り組む3つのターゲットを示します。

3 分野別計画

7つの政策分野を構成する45の施策分野に対応した事業計画を体系的に示します。

4 政令指定都市を目指して

中長期的な視野に立った、政令指定都市移行に向けての考え方や取り組みを示します。

1 まちづくり戦略計画：まちづくりの進め方

City development strategies to create a vibrant society
지역육성 전략계획 : 지역육성 추진방법

計画の位置付け

本計画は、新たな時代変化の中で、基本計画を平成16年3月に見直し、以後5年間の本市が進むべき方向を明確に示すとともに、その実現のための道筋を明らかにしたものです。市民と行政に共通するまちづくりの基本指針であり、それぞれの施策ごとに市民、事業者、行政の役割と責任を明確に示し、三者が協働して取り組むことにしています。推進にあたって、目標の達成状況を評価検証するとともに公表し、適宜改善を加えながら進めます。

特に、行政においては、真に市民に信頼される市政の実現に向け、自らの改革を進めるとともに、市政の舵取り役として、市民、事業者との協働の仕組みづくりなどに積極的に取り組みます。

基本目標

自然と調和した
市民が主役の
活気あるくまもとの実現

ターゲット

1

良好な環境を
未来へと引き継ぐまち

ターゲット

2

子どもたちが
健やかに成長するまち

ターゲット

3

人々が集う
元気なまち

Kumamoto City



City planning

市民協働で築く 自主自立のまちづくり

まちづくりの 進め方

これからのまちづくりは、国に依存することなく、自らの決定と責任により進めていかなければなりません。そのためには、「自分達のまちは自分達がつくる」という理念の基に、市民と行政がより良いパートナーとして、お互いの知恵と力を出し合う「市民協働によるまちづくり」が、これまで以上に重要となります。

このようなことから、これからの新しい熊本づくりを推進していく体制を次のとおり掲げます。



2

まちづくり戦略計画：3つのターゲット

City development strategies: Three targets to help attain a vibrant society
지역육성 전략계획: 세가지 목표

良好な環境を未来へと引き継ぐまち

ターゲット 1

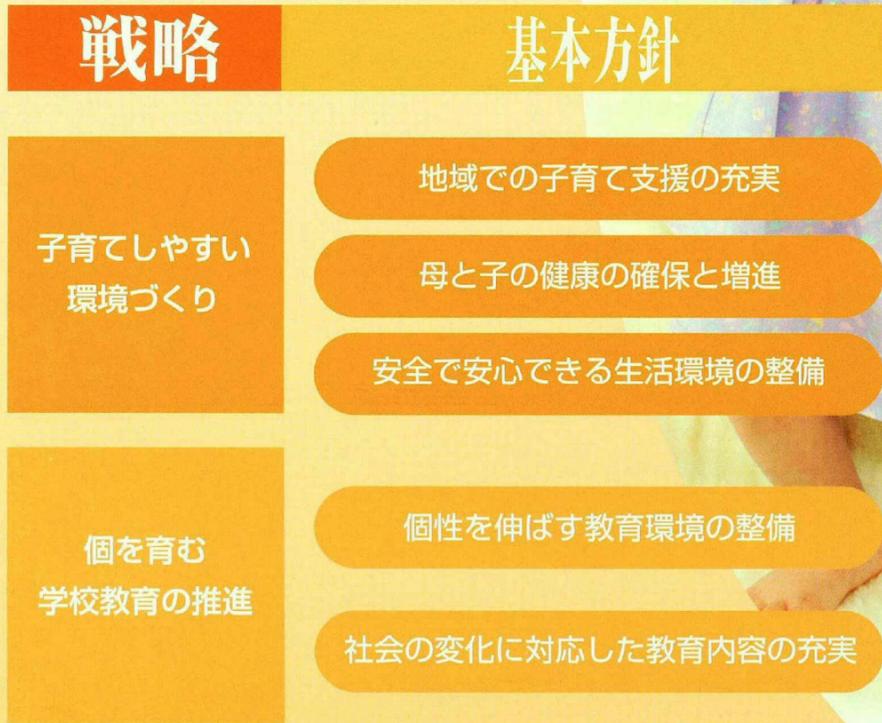
清冽な地下水、森の都と形容される豊かな緑は本市最大の魅力であり、財産です。しかし、都市化の進展、生活様式の多様化などにより、この良好な環境が損なわれつつあります。そのため、一人ひとりが、大量生産・大量消費に支えられた社会経済システムや利便性を求める日常生活を見直し、この恵まれた環境を守り育て、次代へ引き継いでいかなければなりません。そこで、「良好な環境を未来へと引き継ぐまち」を実現するため、次の施策に取り組みます。

戦略	基本方針
地下水の保全	節水対策の推進
	地下水かん養量の増進
	広域連携の強化
ごみ減量・リサイクルの推進	ごみ減量対策の強化
	再利用・再資源化の推進
環境にやさしい交通機関の利用促進	公共交通機関の利用促進
	自転車の利用促進

子どもたちが健やかに成長するまち

ターゲット
2

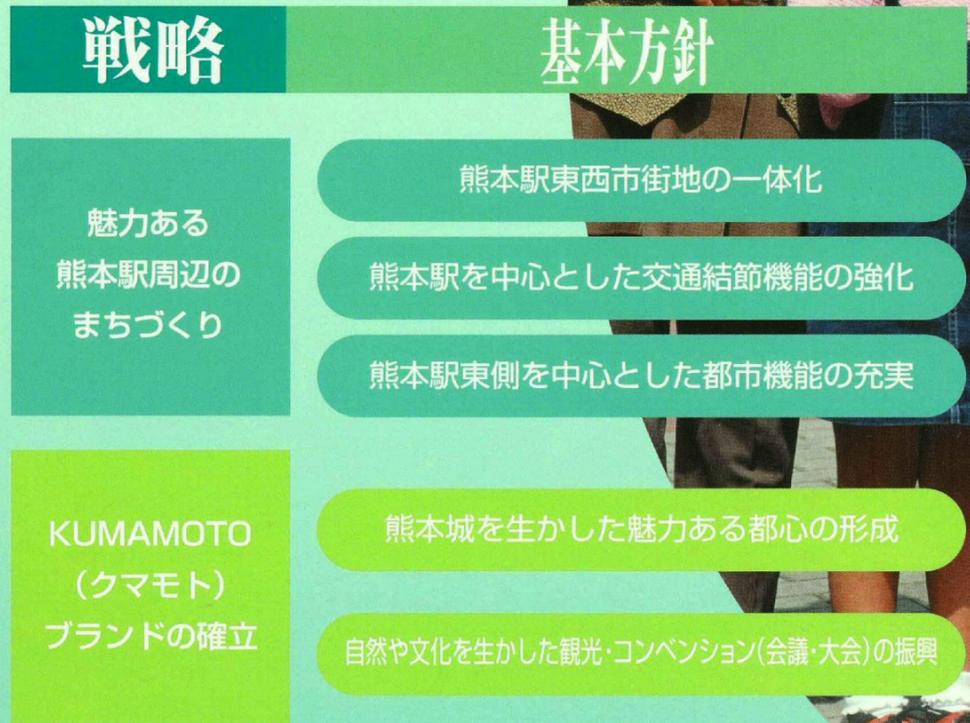
次代を担う子どもたちは、熊本市の大切な宝であり、活気ある熊本市の象徴です。しかし、少子化や核家族化の進展、生活環境の多様化、地域のつながりの希薄化などが進んだ結果、子どもの社会性が育ちにくくなるなど、健やかな成長への影響が懸念されています。そのため、子どもを安心して産み育て、かつ、子どもたちが個性や能力を十分発揮し、未来への可能性を自ら切り拓くことができる環境を社会全体で築いていく必要があります。そこで、『子どもたちが健やかに成長するまち』を実現するために、次の施策に取り組みます。



人々が集う元気なまち

ターゲット
3

九州新幹線鹿児島ルートの特快列車による経済的効果を最大限に波及させるためには、熊本駅周辺や熊本城を中心とした都心部において、都市機能の向上と熊本らしい魅力を創出することが重要です。また、観光・コンベンション(会議・大会)の振興に向けて、豊かな自然、文化遺産、特産品などの地域資源を生かした地域づくり、魅力づくりを図る必要があります。そこで、『人々が集う元気なまち』を実現するため、次の施策に取り組みます。



第1章 一人ひとりが輝く人権尊重社会の構築

Create a fair and just society where all individuals can shine
모든 사람이 존중받는 인권사회의 구축

すべての人々が、人として等しく尊重され、平等に社会に参加できるよう、人権意識を高め、人権擁護のための支援を行います。また、男女が対等な立場で参画し、ともに責任を担える社会を形成します。

人権擁護のための
社会づくり

21世紀は「人権の世紀」ともいわれています。

わたしたちは、だれもが「幸せになりたい」という切なる願いをもっています。

日本国憲法も、すべての国民に基本的人権を保障しています。

しかし、今日でもなお、女性・子ども・高齢者・障がい者・同和問題・外国人・水俣病やハンセン病元患者等の人権問題など、解決しなければならない問題が数多く存在しています。そこで、本市では差別意識の解消と市民の人権が尊重されるまちづくりをめざして、人権・ふれあいフェスタ、人権フェア、人権啓発セミナー、人権講演会、人権啓発映画会など市民参画型の啓発事業を実施し、より多くの市民への人権教育・啓発の推進に力をいれています。



熊本市人権啓発マスコットキャラクター「ラブミン」と子どもたち（人権・ふれあいフェスタ2007）

男女共同参画社会の形成

男女が、社会の対等な構成員として互いに人権を尊重し、社会のあらゆる分野において平等な参画を進めるとともに、自らの個性と能力を発揮できる「一人ひとりが輝く、男女共同参画社会の形成」を目指します。

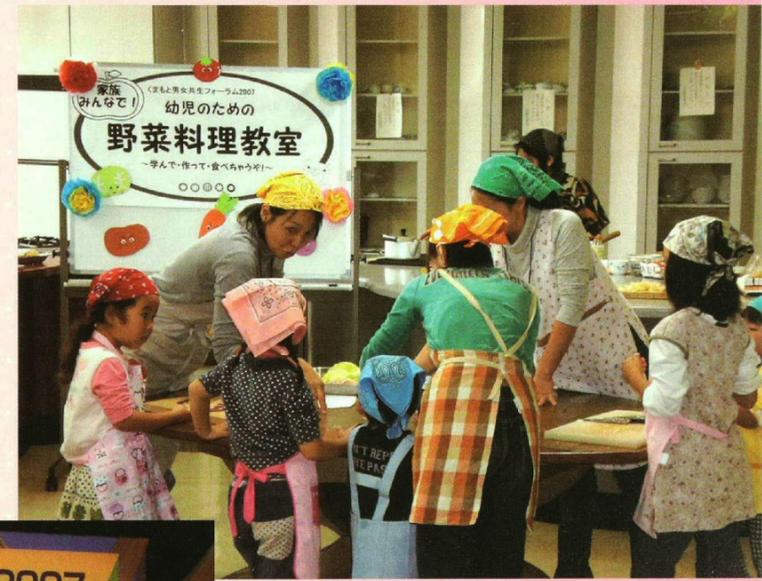
市民と協働し、意識の高揚を図るとともに、仕事や家庭・地域社会の両立支援や多様な連帯が可能な社会づくりのための社会的条件整備を進めています。



「男女共同参画社会を目指す出前講座」の様子

総合女性センター

総合女性センターでは、男女の自立や社会参画のための活動及び市民文化振興交流の拠点として、男女共同参画社会の実現に向けた講演会やセミナーの開催、資格取得や能力開発のための講座等を開催しています。また、相談事業や女性のための資料の収集や提供、さらには、働く男女の仕事と家庭の両立を支援するファミリーサポートセンターの運営及び男女共同参画に取り組む市民グループの活動支援等を行っています。



くまもと男女共生フォーラムでの市民グループによるワークショップの様子



くまもと男女共生フォーラムの様子(シンポジウム)

第2章 心がかよいあう市民生活の創出

Foster a lifestyle in which people understand each other
마음이 오가는 시민생활의 창출

市民が、安心して暮らせ、心がかよいあう生活を送れるよう、消防・救急救助体制の強化、交通安全の確保、消費生活の安定と向上などに努めるとともに、国内外との交流やふれあいのあるコミュニティづくりを進めます。

コミュニティづくりの推進

心がかよいあう地域のコミュニティづくりを推進するため、住民自治の基礎的組織である町内自治会の活性化に努めるとともに、町内自治会をはじめ小学校校区の各種団体等により構成され、団体相互の連携・調整のもと、地域課題の解決などに取り組む組織である校区自治協議会の設立を進め、さらには、まちづくり交流室などによる地域活動への支援並びに活動拠点となる地域コミュニティセンターの整備にも取り組んでいます。



校区自治協議会役員研修会

市民生活の安定と向上

出前講座や消費者セミナーの開催など各種啓発事業や、消費生活に関する相談窓口の設置、情報の収集・提供、消費者団体の育成など、消費者の自立に向けての施策を行っています。



「悪質商法トラブル」に関する出前講座

交通安全・防犯の推進

交通安全推進や放置自転車等の対策、交通事故被害者支援を行っています。さらに、市民・事業者・市が一体となって安全で安心なまちづくりを目指します。



秋の交通安全体験フェア

消防・救急救助体制の強化

火災や事故を未然に防止し、災害発生時には迅速かつ的確に対応する体制を推進しています。



高度救助隊訓練
(消防局庁舎)

また、高齢者世帯の住宅防火診断等による防火に関する広報啓発や、地域の防災訓練の推進、応急手当の普及、救急ボランティアの育成などを通し、防災意識の高揚を図るとともに、地域に身近な防災組織である消防団の活動を支援しています。

国際交流の推進

「すべての人が安心して快適に暮らせる開かれた社会の実現」を目指しています。熊本市国際交流会館を拠点として、市民の国

際理解や地域に根ざした国際交流・協力を推進するとともに、多言語による情報提供・生活支援など外国人に対する公的サービスの充実に取り組んでいます。

また、友好姉妹都市（中国・桂林市、アメリカ・サンアントニオ市、ドイツ・ハイデルベルク市）を始めとする海外諸都市との友好関係を促進する一方、海外から招致した3名の国際交流員を地域の小中学校や公民館、民間団体などへ派遣し、自国文化の紹介を通して、市民の国際理解を促進しています。



国際交流員による自国文化の紹介

戸籍・地籍に関する情報の適正管理

地籍調査

国土調査法に基づき、土地に関する基礎資料を整備し、市民及び公共財産の保全を図り、地籍調査成果を多目的に利用しています。

住居表示整備

土地の地番では、わかりにくい住所の表示を合理的な住居番号で表示し、わかりやすいまちづくりと市民生活の利便性の向上を図っています。

第3章 健やかでいきいきと暮らせる保健・福祉の充実

Improve health care and welfare systems to cultivate healthy lifestyles
건강하고 활기차게 생활할 수 있는 보건·복지의 충실

健やかな ライフスタイルの確立

総合的な健康づくりの推進

「健康くまもと21基本計画」に基づき、市民ひとり一人が、自分らしくいきいきと暮らすことができるよう、自主的な健康づくり運動を支援するとともに社会全体で個人の健康づくりを支える環境づくりに取り組んでいます。

保健所

適正な医療の確保、医薬品の安全管理、救急災害医療及び健康危機管理体制の整備、衣食住の安全確保、動物相談、結核・エイズ・感染症予防対策など、保健予防の推進に取り組んでいます。

保健福祉センター

熊本市域を5区域に分け配置した保健福祉センターでは、市民の健康づくりを支援する地域の拠点として、母子保健や成人保健・精神保健・歯科保健・栄養改善等、保健福祉サービスの充実を図っています。

また、健康や福祉に関する総合相談に応じるとともに介護保険、高齢者や障害者などの在宅生活支援にも取り組んでいます。



健康くまもと21紹介コーナー(平成19年度健康フェスティバル)

健康福祉 サービス体制の充実

市民病院

熊本市民病院は診療科22科、病床数562床(感染症12床を含む)を有する総合病院です。少子化における周産期母子医療、がん医療、高齢化社会における生活習慣病医療、24時間市民の生活を守る救急医療を診療体制の4本の柱として取り組み、安全で信頼される医療の提供に努めています。



江津湖からみた市民病院全景

地域福祉

地域福祉の充実のため、その拠点となる福祉施設の管理運営並びに民生・児童委員、各種福祉団体等に対する支援など、健康福祉サービスの提供と地域住民の積極的な福祉活動への支援を行なっています。

生活衛生の推進

市民生活に密着する衣食住の危害の発生を未然に防止し、快適で安心できる生活環境を確保するため、食品衛生、生活衛生関連営業施設の監視指導を実施すると共に、日常生活における衛生上の困りごとを市民自ら解決できるように、衛生相談・出前教室など知識技術の習得のための支援を行っています。

また、狂犬病予防対策や動物の愛護及び管



生活衛生推進員活動

理推進事業、野生鳥獣対策事業、公共の場におけるそ族昆虫駆除も行っています。

墓地・斎場については、市営墓地(園)7ヶ所と納骨堂1ヶ所を管理・運営しています。

子育て支援の充実



総合子育て支援センターで遊ぶ親子の様子

次世代育成支援行動計画「ひびけ!こども未来プラン」に基づき、病後児保育、延長保育等の保育サービスの充実や子育てほっとステーション(子育て支援センター、児童館など)の整備など、家庭や地域に応じた様々な支援を行い、子どもたちが健やかに成長するまちの実現を目指します。

高齢者への 生活支援の充実

高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる生活を支援するため、くまもとはつらつプランに基づき、社会参加への支援やいきがいづくり、権利擁護などに取り組むとともに、介護予防のため健康づくりを進めます。

障がい者への 生活支援の充実

「熊本市障害者プラン」に基づき、誰もが自分の能力を活かして平等に社会に参加できる環境づくりを進めます。

地域での自立した生活や就労・スポーツ

社会保障制度の 円滑な運用

生活保護

生活保護制度は、生活困窮者に最低限度の生活を保障し併せて自立の援助を主な目的とし、生活保護には生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助等8種類があります。

平成18年度の生活保護世帯状況は受給世帯が7,193世帯、受給人員が9,699人で保護率は14.45%(前年比)となっています。

国民健康保険

国民健康保険の加入者は、239,647人(平成20年1月末現在)で、市人口の約36%にあたります。生活習慣病予防のための保健事業の実施など、加入者の健康増進に努めると共に、保険料の収納率向上や医療費適正化に積極的に取り組んでいます。

介護保険

この制度は、国民の共同連帯の理念に基づき、要介護者等を社会全体で支えていこうとするものであり、利用者の選択により多様な介護サービスを適切に受けることができる仕組みになっています。

平成19年3月現在で高齢者12万7千人のうち約2万3千人の方が要介護(要支援)認定を受けられ、居宅あるいは介護保険施設に入所してのサービスを利用されています。

国民年金

平成18年度国民年金受給者は115,592人、年金受給総額は731億円に及び、多くの市民の生活を支えています。本市では、すべての市民が年金の受給権を確保できるよう、年金制度の広報や年金相談に努めています。

第4章 水と緑に囲まれた良好な環境の形成

Protect our natural environment of pure springs and beautiful greenery
물과 녹음이 어우러진 쾌적한 환경의 조성

環境保全活動の推進

環境基本条例と環境保全都市宣言

本市では、良好な環境の維持及び形成を図るため昭和63年に「熊本市環境基本条例」を制定し、また平成7年9月には、水と緑に輝くふるさとの環境を保全し次世代へ引き継ぐとともに地球環境問題に対しても積極的に取り組むことを誓い「環境保全都市宣言」を行ないました。

この環境保全都市の実現に向けて、平成18年度に第2次熊本市環境総合計画を改訂し計画的な環境保全活動の推進を図っています。

環境パートナーシップの推進

第2次熊本市環境総合計画の推進母体として平成14年4月にパートナーシップ組織「エコパートナーくまもと」が設立されました。「エコパートナーくまもと」では、市民・事業者及び行政の参加と協働により環境保全都市の実現に向け様々な取り組みを行っています。



環境フェアステージ

良好な生活環境の保全

大気や水質、騒音等の監視体制を充実し、環境汚染の状況の的確な把握に努めるとともに、その測定結果等の環境情報を積極的に提供しています。また、公害を未然に防止し良好な生活環境を守るため、環境に配慮した行動や環境負荷の少ない生活の実践等の啓発を進めています。

緑の保全と緑化の推進

緑豊かな森の都の再生を目指し、市域に残る貴重な緑地や樹木を適切に保全し、市民が身近に自然とふれあえる場を提供するとともに、花苗配布や植栽への助成など、市民・事業者・行政が一体となった緑化の推進を図っています。また、アーケード内での植栽の実施や屋上緑化に対する助成など、特に緑の少ない中心市街地での緑化を推進し、安らぎと潤いのあるまちづくりに取り組んでいます。



下通3・4番街アーケード内の植栽

水環境の保全

水量の保全

地下水位は低下傾向、また湧水量も減少傾向にあります。

地下水量保全のため、かん養林の造成事業や白川中流域の水田等を活用した人工かん養事業を推進するとともに、節水市民運動や雨水の有効活用に努めています。

水質の保全

河川・海域及び地下水の水質を監視しています。また、工場及び事業場排水の規制、汚染された地下水の浄化対策、並びに硝酸性窒素削減対策を講じています。

広域的保全体制の確立

熊本地域（熊本市及び近隣13市町村）の関係機関や「(財)熊本地下水基金」等との連携により、市民・事業者・上下流域自治体が一体となって地下水の保全事業を行っています。



地下水を育む上流域の水田で市内の親子が米作りを体験

くまもと水ブランドの創造

本市の特色である恵まれた水の環境を生かして、魅力あるまちづくりを行い、「熊本といえば水」「水といえば熊本」と認知されるような、環境の世紀に相応しい都市

ブランドの確立に取り組んでいます。

ごみ減量・リサイクルの推進

平成16年3月に策定した「熊本市ごみ減量・リサイクル推進基本計画」に基づき、市民・事業者・行政の三者協働で持続可能な循環型社会の実現に向けて取り組んでいます。

近年の新たな取り組みとしては、環境にやさしい店認定制度やごみゼロ・サポーター制度の導入が挙げられます。また、基本計画に掲げる家庭ごみ20%の減量に向け、市民のごみ減量・リサイクルに対する取り組みが進むように、地域等でごみ減量のための具体的な取り組み方法等に関する説明会を開催しています。



ごみゼロ大学(家庭ごみ減量等説明会)開催風景

ごみの適正処理の推進

ごみの収集運搬・再生利用・焼却・埋立処分の体制を確保し、一般廃棄物の適正処理に努めています。また、市民のごみの分別搬出等への協力を得るため、平成17年度からは、クリーンセンターに啓発推進係を新設し、町内自治会等と一体となった取り組みを進めています。産業廃棄物については、排出事業者や処理業者に対し、廃棄物の発生抑制や適正処理を行うよう指導を行っています。

第5章 魅力と活力あふれる産業・経済の振興

Promote industry and economic prosperity
매력과 활력이 넘치는 산업, 경제의 진흥

新産業の振興

地域経済の活力を創出するため、新たな創業や起業家の支援を図るとともに、情報通信、健康福祉、環境、バイオテクノロジー、新製造技術などの分野における本市の特性を生かしたリーディング（先導的）産業の積極的な支援を行います。



国、県、大学と連携した起業家支援施設
「くまもと大学連携インキュベータ」

雇用の安定と働きやすい環境づくり

国や県と連携して、新規又は再就職の支援として、職業相談や再就職支援セミナー、企業合同面接会を開催するとともに、職業能力向上のため熊本市職業訓練センターなどで教育訓練を実施します。また、中小企業勤労者の福利厚生充実を図るため熊本市勤労者福祉センターや中小企業勤労者福祉共済事業を運営します。



熊本市職業訓練センターにおける教育訓練

商業・サービス業の振興

商業やサービス業の振興を図るため、中心商店街の集客力や回遊性の向上に努めるとともに、地域の特性を生かした地域商店街の魅力づくりを進めます。

特に、KUMAMOTO（クマモト）ブランド発信の核となる中心市街地を活性化させるため、地元商店街や市民・事業者との連携により、まちなかの賑わい創出とさらなる魅力づくりに努めます。



城下町大にぎわい市

工業の振興

本市工業の振興を図るため、成長力のある企業の立地促進に取り組むとともに、産・学・行政の連携強化による企業の技術力向上や販路開拓、中小製造業者等が行う新製品の研究開発に対する支援などを行います。



お菓子の製造ライン

中小企業経営の基盤強化

チャレンジ精神旺盛な中小企業を育成するため、資金融資、人材育成、創業支援、情報提供などのきめ細やかな支援を行い経営資源の充実を図ります。

特に、事業者の抱える問題に総合的に対応する体制を整備し、時代の変化に応じた中小企業経営の基盤強化に努めます。



中小企業経営サポートプラザでの無料経営相談

観光・コンベンション（会議・大会）の振興

九州新幹線鹿児島ルート全線開業を視野に「観光立市くまもと」の実現に向けて、経済波及効果の高い観光やコンベンション（会議・大会）の振興を図る中、韓国・中国・台湾などからの国際観光客の誘致など、さらなる誘致促進及び受け入れ機能の拡充を行います。

さらに、本丸御殿大広間が復元された熊本城、水前寺江津湖公園や動植物園などの歴史や水辺環境を生かした観光資源の利活用や魅力向上、肥後象がんなどの伝統工芸の保存育成、物産振興などについて取り組みます。

農業の振興

農業の振興を図るため、担い手の育成や農業生産・流通の基盤整備を進めるとともに、環境に配慮した安全で安心な農作物づくりやそのブランド化支援を行います。

特に市民の農業や食への安全への理解を深め、地産地消を推進することにより、生産者と消費者との新たな共生関係を築きます。



芋ほり体験

水産業の振興

水産業の基盤となる漁場及び漁港の整備を進め、H19年9月沖新町にオープンした熊本市水産振興センターを拠点に、技術指導、人材育成、情報発信を充実させ、のり養殖業をはじめとする水産業の振興を図ります。



熊本市水産振興センター

第6章 安全で快適な都市基盤の整備

Maintain a comfortable and safe infrastructure
안전하고 쾌적한 도시기반의 정비

計画的な都市づくり

都市計画

都市計画は、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備、市街地開発事業に関する計画です。

都市景観

美しく活力ある森の都くまもとの都市景観を創造するために都市景観条例や屋外広告物条例を制定し、熊本城を核とした眺望景観や地域の歴史的なまちなみの保全など熊本らしい都市景観の形成に努めています。

開発許可制度

都市周辺部への無秩序な市街化を防止し、都市基盤の整備された良好な都市づくりに寄与します。

総合交通体系の確立

阿蘇くまもと空港は国内線(東京他5都市)・国際線(ソウル)へ定期便を運行しています。鉄道網は、JR鹿児島本線、JR豊肥本線と熊本電鉄があります。

熊本港では、重要港湾へ指定(S49)後、岸壁等整備を進め、高速旅客船(本渡間)やカーフェリー(島原間)が就航しています。

また、平成11年にはコンテナ国際定期航路(韓国・釜山港)も開設されました。

市電・市バス

熊本市交通局は、路面電車が天正13年8月、バスが昭和2年11月に営業を開始し、以来83年の歴史を刻んでいます。

国内初導入のノンステップ超低床電車5編成、ノンステップバス49台(いずれも平成19年3月現在)を保有し、人に、環境にやさしい公共交通機関を目指しています。

九州新幹線



良好な市街地の整備

熊本駅周辺地域では、「出会いとふれ合いの副都心」を将来像に掲げ、県市で協力して策定した熊本駅周辺整備基本計画に基づき、連続立体交差事業や熊本駅西土地区画整理事業などによる「熊本駅東西市街地の一体化」、東西駅前広場や道路整備、公共交通の充実による「熊本駅を中心とした交通結節機能の強化」、さらには、市街地再開発事業などによる「熊本駅東側を中心とした都市機能の充実」を進めています。

上熊本駅周辺では、本市の「市街地核」の一つとして、鉄道と路面電車・バス等の結節強化とともに、都市機能の改善と地域の活性化を促進します。

市街地再開発事業は、都市における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図ることを目的としています。本市では、上通A地区(びぶれす熊日会館)及び手取本町地区(テトリアくまもと)の再開発事業が完成し、現在、中心市街地において新たな事業化に向けた取り組みを行っています。

土地区画整理事業は、道路、公園、水路などの公共施設を整備し、宅地の利用増進を図ることを目的としており、現在、画図、陳内の2地区で組合施行により進められています。

建築物安全推進事業では、建築物の耐震化の促進など、市民が安全で安心できる生活環境の整備を推進しています。

生活道路の整備

市道整備

熊本市には、市民の日々の暮らしに直結する市道が9,912路線、総延長2,456km(H19.4.1現在)あります。

その市道が、いつでも安全かつ快適に利用できるよう改良、維持補修に努めています。

事業前



草場町上通町第1号線電線共同溝事業前後の写真

また近年は、すべての人が安全で、安心して通行できる道路空間の確保が強く求められており、その整備を促進するとともに、電柱の地中化により快適で利用しやすい道路整備を進めています。

良好な住宅の供給

建築指導

建築物の大規模・高層・複合化が見られるなか、良好な都市環境の整備に向けて、総合設計制度や建築協定を推進するとともに、高齢者や身体障がい者等の方々が安心して利用できる建築物の拡大化に向けたバリアフリー整備の促進に取り組んでいます。

一方、市民の住環境に対する意識も年々高まり、近隣住民との紛争等を未然に防止するため、建築主と周辺住民との相互理解に寄与することに努めています。

さらに、平成18年8月より一定の建築物に対して中間検査制度を導入し、建築規制の実効性、建築物の安全性の確保に努めています。

また、違反建築物の防止に努めるほか、安全なまちづくりを目指して関係団体と連携を図っています。

市営住宅

平成19年4月1日現在、市営住宅の管理戸数は、12,901戸となっています。

市営住宅の供給にあたっては、熊本市第2次住宅マスタープランに基づいて、老朽化した団地の建替を進めるとともに、少子高齢社会に対応したバリアフリー化を推進するとともに、ハーフメイド住宅の供給や防犯への配慮など、安全・安心できる住宅の整備に取り組んでいます。

また、団地の建替にあたっては、地域の環境に配慮した団地づくりとともに、まちづくりと一体となった良好な住環境の整備に取り組んでいます。



画図重富団地2期の外観写真



小山五丁目ふれあい公園

公園緑地の整備

都市公園は平成19年度4月1日現在、まちの広場等を含め877箇所、面積は約570ha、市民一人当たり8.53㎡の広さになっています。

今後は、平成20年度末までに、歩いて行ける公園の整備率45.6%を目標に、市民と一体となって都市公園の整備を進めてまいります。

公園の管理については、日常的な維持管理の充実を図るとともに、地域のボランティアである公園愛護会と協力し、市民がいつでも安心して安全に利用できるよう努めてまいります。

水道水の安定供給

熊本市の水道水は、地下水100%です。人口60万人以上の都市では、全国でも例をみません。水道局では、地震や台風などの非常時でも安定した水の供給ができるよう、基幹施設の耐震化や応急給水体制の充実化を図り、これからも「安全でおいしい水」の安定供給に努めていきます。

下水道の整備

昭和23年の下水道事業着手以来、平成18年度末の普及率は84.4%、整備面積は9,314haに達し今後も早期整備完了を目指すと共に、水資源として下水処理水の再利用、老朽施設の改造改築、恒常的な浸水箇所の解消・整備を図りながら、安全で快適な環境づくりに取り組んでいきます。

治水対策の推進

大雨による災害を防止するため、河川改修や排水機場などの整備を進め、都市型水害や内水被害の解消に努めています。改修にあたっては、潤いのある水辺空間の創出や自然生態系に配慮した整備を進めています。



藻器堀川改修

防災体制の強化

危機管理に関する基本事項を定めた危機管理指針を柱に、自然災害に対処する地域防災計画、大規模テロなどに対処する国民保護計画、また、その他の危機事象に対処する事件等対処計画により、災害時に迅速に対応できるよう危機管理体制の整備を図ります。

第7章 豊かな人間性を育む教育・文化・スポーツの振興

Promote education, culture and sport to nourish humanity
 풍부한 인간성을 기르는 교육, 문화, 스포츠의 진흥

学校教育の充実

子ども一人ひとりの個性を生かしながら、子ども一人ひとりが輝くために、豊かな人間性や創造性の育成を目指し、教育改革プログラム「くまもと子ども輝きプラン」に基づき、その実現に取り組んでいます。

特に、少人数学級の実施など確かな学力の向上と個性を伸ばす教育の充実に努めるとともに、「生きる力」のもととなる子どもたちの豊かな心や健やかな体の育成を図っています。

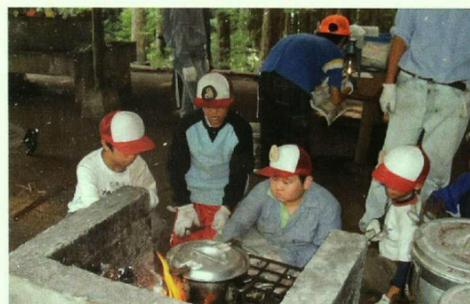


子どもたちの学習の様子

青少年の成長支援

子どもたちに野外活動を初めとした様々な体験活動の機会や情報を提供するとともに、PTAや子ども会などと協力して、地域の教育力向上に取り組んでいます。

また、家庭教育のあり方等について、小・中学校の保護者を対象に学習機会を提供しています。



金峰山～大観峰チャレンジキャンプ

生涯学習の推進

「熊本市生涯学習指針」に基づき、全ての市民がいつでも学習ができ、その成果を活かせる環境づくりに取り組んでいます。

特に、市民の生涯学習活動を促すための学習情報の提供に努めるとともに、公民館等における学習機会の拡充や、図書館、博物館等市民が気軽に利用できる生涯学習の拠点施設の整備充実を図っています。



市民大学講座(ワクワク人間学コース)

熊本市立図書館

市立図書館には、本館と移動図書館及び15公民館図書室を合わせ、約90万冊の蔵書があり、利用者ニーズの高度化、多様化に対応するため、通常の貸出に加え、インターネットによる図書の検索・貸出予約やレファレンスなど情報提供サービスの充実を図っています。

さらに、読書活動啓発のため、図書展、おはなし会、講演会、映画会等の自主事業を実施しています。



「おはなし会」の様子



体験コーナー「ドライアイスの不思議」

熊本博物館

自然・人文・理工科学関係資料約5,000点を展示し、これにプラネタリウムを併設した総合博物館です。

教育普及活動として各種学習講座の開設、特別展示会、移動博物館、こども科学・ものづくり教室等を開催し多くの人々に利用されています。

生涯スポーツの振興

スポーツに対する市民一人ひとりの多様な価値観に応えられる環境づくりを目指し、「熊本市生涯スポーツマスタープラン」に基づき、その実現に取り組んでいます。

特に、市民の誰もが参加できる生涯スポーツ活動の支援として、地域に根ざした総合型地域スポーツクラブの育成や既存のスポーツ施設の有効活用等に努めています。



総合型地域スポーツクラブ

歴史的文化遗产の継承と活用

先人から受け継いだ市民の貴重な財産である熊本の文化財を郷土の誇りとして大切に保全し、次の世代へと伝えるとともに、市民生活の中で積極的な活用を図っています。

市民文化の創造

多くの人々が文化に親しみ、また自ら文化活動に参加しながら市民生活の質を高めるために、様々な文化事業や文化活動支援を行っています。また、次代の文化創造を担う子どもたちに豊かな感性を身につけてもらうため、学校や地域でのコンサート・ワークショップ等の文化事業も積極的に実施しています。



市民会館リニューアル記念創作舞台「空にあお 地にあした」



熊本城

4 政令指定都市を目指して

Transitioning towards a government-designated city
지방자치도시를 목표로 하여

政令指定都市では、区役所が設置され、地域の実情に応じた身近な行政サービスの提供が可能となり、行政権限拡大、移譲によるサービスの提供など行政サービスの向上が図られます。また、財源の拡充により、まちづくりの一層の推進を図ることができ、さらには、知名度アップによる地域経済の活性化が期待されます。

そこで本市では、政令指定都市移行に向け、今後次のような取り組みを進めます。

1

熊本市圏における将来ビジョンを描くとともに、その実現に向けた広域連携のあり方について、産・学・官・民の協働により検討します。

2

市政改革プランに基づくまちづくりや行財政改革を積極的かつ着実に推進し、行財政の運営能力を高め、政令指定都市にふさわしい行政体制の整備を進めます。

3

市民協働の推進や住民サービスの向上、及び地域の特性に応じた住民主体のまちづくりを進めるため、身近なサービス体制の整備をはじめとした都市内分権に取り組みます。

TARGET



行政

Municipal administration
행정

市長 幸山政史
Mayor Seishi Kohyama



副市長 西島喜義
Vice Mayor Kiyoshi Nishijima



副市長 森田弘昭
Vice Mayor Hiroaki Morita



Kumamoto City

■ 歴代市長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉村大八	明治 22. 5. 6	明治 26. 7. 9	第12代	石坂繁	昭和 20.10. 4	昭和 21. 3.11
2	松崎為己	" 26. 9.15	" 30. 8. 2	13-14	福田虎亀	" 21. 6.14	" 23. 2. 9
3	辛島格	" 30. 9.13	大正 2. 1.20	15	佐藤真佐男	" 23. 4. 7	" 27. 3. 7
4	山田珠一	大正 2. 4. 2	" 3.10.10	16	林田正治	" 27. 3.20	" 31. 2.23
5	依田昌兮	" 4. 1.14	" 6. 9. 3	17-18	坂口主税	" 31. 3.16	" 38. 1. 4
6	佐柳藤太	" 6.11.20	" 10.11.19	19-20	石坂繁	" 38. 2.15	" 45.11.26
7	高橋守雄	" 11. 1.19	" 14. 7.13	21~24	星子敏雄	" 45.12.20	" 61.12. 6
8	辛島知己	" 14. 9.14	昭和 4. 7. 4	25-26	田尻靖幹	" 61.12. 7	平成 6.12. 6
9	山田珠一	昭和 5. 2. 5	" 9. 4.17	27-28	三角保之	平成 6.12. 7	" 14.12. 2
10	山隈康	" 9. 5.14	" 17. 5.13	現市長	幸山政史	" 14.12. 3	在任中
11	平野龍起	" 17. 6.25	" 20. 8.10				